

21 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会

【第211回国会】

(1) 委員名簿 (25人)

委員長	下条	みつ君	立憲					
理事	池田	佳隆君	自民	理事	江渡	聡徳君	自民	
理事	斎藤	洋明君	自民	理事	中川	郁子君	自民	
理事	梅谷	守君	立憲	理事	松原	仁君	立憲	
理事	美延	映夫君	維新	理事	濱地	雅一君	公明	
	加藤	鮎子君	自民		亀岡	偉民君	自民	
	高村	正大君	自民		佐々木	紀君	自民	
	櫻田	義孝君	自民		辻	清人君	自民	
	藤井	比早之君	自民		細田	健一君	自民	
	山口	壯君	自民		義家	弘介君	自民	
	西村	智奈美君	立憲		太	栄志君	立憲	
	池下	卓君	維新		中川	宏昌君	公明	
	鈴木	敦君	国民		笠井	亮君	共産	

(2) 設置の目的

北朝鮮による拉致等に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため

(3) 議案審査

付託された議案はなかった。

(4) 国政調査

国政調査では、質疑が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

○ 主な質疑内容

- ・ 家族会・救う会が令和5年2月に決定した「今後の運動方針」を踏まえた、政府の今後の北朝鮮との交渉方針
- ・ 内閣総理大臣が特定失踪者家族と面会する必要性
- ・ 北朝鮮の資金源に関する政府の見解
- ・ 令和5年3月の韓国統一部長官との会談における、人権問題を扱う定期協議の窓口設置に関する韓国側からの提案に対する拉致問題担当大臣の回答及び日韓の協力についての見解
- ・ 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会のこれまでの取組の成果及び拉致問題の解決のために本委員会が果たすべき役割についての拉致問題担当大臣の見解
- ・ 政府が責任を持ってNHKに対して特定失踪者問題調査会による北朝鮮向け短波放送「しおかぜ」に用いる送信機の予算付けを促す必要性
- ・ この1年間、日朝首脳会談の実現に向けて進展がなかったことを踏まえ、今後の北朝鮮との交渉方針を明確にする必要性
- ・ 拉致被害者の蓮池薫さんが、令和4年11月の講演の中で、拉致問題の解決に向けて「日本独自の対策が足りない」等と指摘したことについての拉致問題担当大臣の見解

【第212回国会】

(1) 委員名簿 (25人)

委員長	下条	みつ君	立憲					
理事	斎藤	洋明君	自民	理事	高木	啓君	自民	
理事	高鳥	修一君	自民	理事	塚田	一郎君	自民	
理事	梅谷	守君	立憲	理事	西村	智奈美君	立憲	
理事	和田	有一朗君	維新	理事	山崎	正恭君	公明	
	井出	庸生君	自民		池田	佳隆君	自民	
	加藤	勝信君	自民		熊田	裕通君	自民	
	佐々木	紀君	自民		櫻田	義孝君	自民	
	中川	郁子君	自民		山田	美樹君	自民	
	山本	左近君	自民		義家	弘介君	自民	
	太	栄志君	立憲		松原	仁君	立憲	
	金村	龍那君	維新		中川	宏昌君	公明	
	田中	健君	国民		笠井	亮君	共産	

(2) 設置の目的

北朝鮮による拉致等に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため

(3) 議案審査

付託された議案はなかった。

(4) 国政調査

国政調査では、質疑が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

○ 主な質疑内容

- ・ 北朝鮮との国交正常化交渉をすべきではないとする考え方及び国交正常化交渉のテーブルの上で拉致問題に取り組む方法それぞれのアプローチについての政府の見解
- ・ 北朝鮮が暗号資産をハッキングして外貨の収入源としていることに対する警察庁の認識及び対策
- ・ 拉致問題に関する教育の現状認識と今後の方向性に関する拉致問題担当大臣及び文部科学副大臣の見解
- ・ これまでの拉致問題への対応に関する政府としての総括
- ・ 令和5年5月の内閣総理大臣の発言後に発表された北朝鮮外務次官談話が日本に対する北朝鮮の姿勢の変化を示すものであるかについての政府の見解
- ・ 国籍にかかわらず拉致被害者の帰国に向けて取り組むことについての政府の認識
- ・ 日朝交渉を動かすため、北朝鮮の指導層等に対し何らかの呼び水を与えることについての政府の認識
- ・ 北朝鮮向けラジオ放送「しおかぜ」の施設の老朽化等に対する政府の認識及び支援状況
- ・ 北朝鮮による衛星打ち上げを目的とする弾道ミサイル技術を使用した発射に対する拉致問題担当大臣の見解